

夏のおもいで

教育相談専門員 沼波かおり

息子たちがまだ幼かった頃、わが家の夏休みには「ゴマちゃん洗濯の日」のイベントがあった。当時TVのアニメ「少年アシベ」に夢中になっていた息子たちは、ゴマちゃんのぬいぐるみを片時も離さなかった。おかげで真っ白でふわふわだったゴマちゃんは、一年ごとにグレーのくたびれ果てた姿になっていく。それをできるだけ猛暑日を選んで洗濯し、できるだけ白く、できるだけふわふわにするのだ。

当時の二層式洗濯機の、洗濯槽でぐるぐる回るゴマちゃん、脱水槽でやせ細るゴマちゃん、そして物干し竿につるされたゴマちゃん、どのゴマちゃんも滑稽でかわいくて、飽きもせず、日がな一日、子どもたちと大声で笑いながら作業をしたものだ。

最近、Eテレで「少年アシベ」が再び放映されているのを知り、懐かしく見ている。そして今になって、登場人物に対する作者「森下裕美」のまなざしの深さに感動している。そこには子ども向きアニメとして、ひとくくりにはできない「何か」がある。

父親の転勤でネパールに住むアシベの親友スガオ君は、ほとんど言葉を発せず、ひたすらアシベ人形を抱いていつも泣いている。いじめっ子の坂田新一は、ゴマちゃん大好きなのにうまく伝えられない兄ちゃんのために、いつも奔走している。体育教師天堂先生は、シュールでハイテンション、そして子どもたちのことは置き去り。アシベのじいちゃんの家「アシベ商事」の社員たちもそれぞれ問題アリの、一癖ある人々だ。登場人物たちは、何らかの「生きづらさ」や傷を抱え、とても子ども向けとは思えないラインナップ。しかも、毎回とてつもなくゴマちゃんがかわいい。最後は笑うしかない。同じ「森下裕美」の別シリーズ、「大阪ハムレット」を読んで謎が解けたような気がした。

舞台は大阪、市井に生きるさまざまな人々の姿が、軽妙な大阪弁とともに展開していく。こちらは大人向きの内容だが、LGBTの少年、親の再婚に気もちが揺れる姉弟、義母を看取る外国人妻……。どの短編にもゴマちゃんはいないが、ゴマちゃんを取り巻く「少数派の人々」がいる。自分の心が再生していくのがわかる作品の数々だ。

わが家にはもう一つ、息子たちが考案した、「上げゴマ神事」という行事もあった。ゴマちゃんを階段下から二階の踊り場めがけて放り投げ、1回で成功すればいいことがある、という吉凶を占うもの。三重県多度大社の「上げ馬神事」に倣った神聖な行事だった。ゴマちゃんのぬいぐるみは、あの頃のわが家に、確かにしあわせな時間をくれた。



☆ カウンセラーの先生方が来校されます ☆

本校には次のカウンセラーの先生方が毎月来校されます。「辛いけれど、どうしていいかわからない」という人、「よく眠れない」「食欲がない」「体調が良くない」などの症状がある人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

《カウンセラーの先生と9月の相談日》

- 沼波 かおり先生 (本校教育相談専門員)
毎週火曜日、木曜日 午後1時～6時 (前期期末考査期間は除く)
- 堀 智哉先生 (各務原病院 臨床心理士)
毎週月曜日、金曜日 午後7時～9時 (前期期末考査期間は除く)
- 鷺見 栄子先生 (社会福祉士)
9月6日(水)、13日(水)、27日(水) 午後4時～6時

☆生徒のみなさんへ…面談は予約制です。HR担任、教育相談係(教育相談室:本館3階)、養護教諭(保健室:本館1階)の先生のいずれかに申し込んでください。

★保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。お申し込みは、定時制教育相談係(長瀬・服部・松原)までお願いします。

電話番号は(058)275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。

★本校の特別支援教育コーディネーターは、服部と松原です。何かございましたら、遠慮なくご相談ください。